

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

SENTAN・専探 7/19(火)~7/20(水) SENTAN-DAY 開催される
1年・2年=総合体育館で授業実践に向けて資料作成&社会人メンターとの哲学対話
3年=志望先のフォーマットに合わせ情報量のある志望理由書の作成



◆7月20日(水)
1~3校時教員による授業の実践/12時40分自己紹介/12時50分1人10分の授業に向けた最終確認&準備/13時10分6人1組10分の授業を実践/14時50分授業の振り返りのワークシートを記入・クラッシュに振り返りトピクスメントを記入

◆7月19日(火)
8時北上総合体育館集合/9時S.H.R./9時10分オリエンテーション/9時50分チームでの進捗状況確認/10時40分翌日の授業実践に向けて確認と資料作成/12時昼食/12時40分社会人メンターとの哲学対話(約90名)/15時30分哲学対話振り返りかえり/16時HR後解散

1年・2年



◆7月20日(水)
1校時志望理由書の文章化に関するレクチャー/2校時・3校時2400字以上の志望理由書の作成/4校時5校時6人1組になり、それぞれの志望理由書のプレゼン/6校時4校時5校時での経験をもとに志望理由書の文章を推敲し、清書の最終提出日を示す。

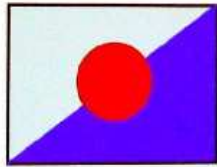
3年



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒



税関旗

薬物乱用防止講演会

不正薬物乱用防止と税関の取り締まりについて 高野幸治函館税関釜石税関支署長



税関ロゴマーク



税関イメージキャラクター
カスタム君



薬物乱用防止講習会

講師 高野幸治氏 釜石税関支署長

◆函館税関 Hakodate Customs 函館市に主たる事務所を置く。北海道、北東北3県(青森県、岩手県、秋田県)を管轄する。

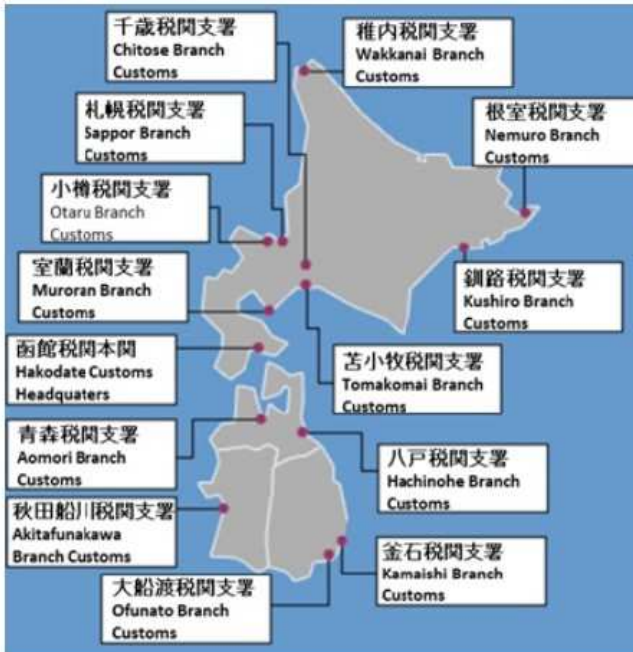
7月21日(木)さくらホール(大ホール)で10時50分から全校生徒を対象に函館税関釜石税関支署署長の高野幸治さんを講師に招いて薬物乱用防止教室(税関教室)が開催されました。講演のなかで税関がどんな役割を持っているのか、どんな仕事をしているのか、不正薬物をどのように取り締まっているのかなどパワーポイント資料を使って

Q「税関とは?」
A「不正薬物の密輸を取り締まる官庁」

Q「薬物の乱用とは?」
A「社会のルールからはずれた方法、目的で薬物を使うこと。1回使用しても乱用。」

Q「薬物乱用3ない運動とは?」
A「薬物を持たない」「薬物やらない」「薬物に近づかない」

てわかりやすく説明していただきました。



税関の歴史

江戸時代の日本は鎖国していましたが、1853(嘉永6)年の黒船来航をきっかけに、翌1854(嘉永7)年に日米和親条約が、1858(安政5)年に各国と修好通商条約(安政の五か国条約)がそれぞれ締結され、日本は開国することになりました。

鎖国時代もオランダとの交易が続いていた長崎のほか、箱館と神奈川(横浜)が開港とされ、各港に「運上所」が設置されました。

その後、明治5年(1872年)に全国の運上所の呼称を「税関」と統一。今年で150年の節目を迎えました。

税関 150周年

日本の未来は私たちが守る

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

令和4年思春期講演会(さくらホール大ホール)

北上市健康こども部健康づくり課 木地谷 祐子 保健師

ほんとに知りたい! 性のはなし



思春期講演会が開催された・さくらホール



思春期講演会4人の保健師さんのご協力で行われました



地域で生活するすべての人の健康を支える専門職である「保健師」として活躍されている木地谷祐子さん、hokkoで仕事をしながら今年の3月まで助産師として病院や大学に勤務し、たくさんのいのちの誕生に立ち会ってきました

Q 性感染症とは何ですか
A 性行為などで感染する病気です(クラミジア感染症/淋病/梅毒/尖圭状コンジリoma/トリコモナス症/HIV/AIDS/性器ヘルペス/毛むくみ症等)特に最近10代でクラミジア感染している人が統計上多い傾向にあります。
 クラミジア感染症の怖さは、子宮の入り口に感染したクラミジアは子宮の中、卵管を介してお腹の中へ入ります。

Q 性行為で感染する病気は、子宮が腫れ、卵管に水が溜まり、水が溜まり腫れて卵管は永久に戻らなくなってしまう、一生妊娠困難になる場合があります。
A 「精通」と「生理」が重なれば、たまたま一回の性行為でも妊娠する可能性があります。高校生の今の時期は、まだ月経周期が不規則です。
Q 高校生のみんなには、正しい知識を持って、自分やパートナーを守り、人生の選択肢を広げて欲しいです。



7月21日(木)さくらホール(大ホール)で全校生徒を対象に北上市健康こども部健康づくり課成人保健師の木地谷祐子保健師を講師に招き思春期講演会が行われました。講演の内容の一部を紹介します。
 今の日本は、意図しない妊娠、性感染症、性被害など性に関する課題が山積みです。日本の年間中絶件数は約16万件。生まれてくる赤ちゃんの6分の1が「生まない」選択をされています。
Q 月経はなぜ起きるのか?
A 妊娠が成立しなかった時子宮内膜がはがれ落ちて体外に出てくるものです。



①大人になるということは、「自分の選択に責任」を持つこと
 ②自分の選択が「自分や相手の未来」に及ぼす影響を知って下さい
Q これからの人生設計や避妊法、相手との関係性についてよく考えてみましょう

Q より効果的避妊法は?
A 「ピル」「コンドーム」で避妊と性感染症予防しよう。「ピル」は避妊効果は高いが、性感染症は予防できない。
Q 「ピル」(経口避妊薬)「年間避妊失敗率0.3%」「コンドーム」年間避妊失敗率2%~18%
Q もしコンドームが破れたり、避妊に失敗したらどうすればいいか?
A ①性経験は「あせりなく大丈夫」(性経験の有無で人の価値は決まらない。妊娠や病気になるかもしれない安心できる対策が必要)
 ②自分と相手のかたがたのことを守る「知識」を身につけて「実践」できるように「性」について、お互いが納得できるまで話し合おう

Q お互いを大切にしよう人間関係に必要なのは?
A 性交から72時間以内にもと高い確率で妊娠を防ぐ「緊急避妊薬(アフターピル)」があります。産婦人科を受診して買える薬です。1回6000円~20000円(地域によって異なる)です。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
In 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山 尚加
メディア委員会担当:
吉田 俊哉・佐々木 文弥・佐藤 諒

高大接続研究事業特別講義「総合科目」7月13日(水) 石巻専修大学経営学部 情報マネジメント学科 湊信吾教授 「実践データサイエンス」



令和4年度高大連携事業「総合科目」第6回目の授業は7月13日(水)本校ケリエーションホールで「実践データサイエンス」と題して石巻専修大学経営学部情報マネジメント学科の湊信吾教授から講義をいただきました。



まず最初にコンピュータリテラシーという言葉について触れました。リテラシーというのは運用能力と訳されます。湊信吾教授はコンピュータリテラシーは読み書きのほかにコンピュータを使いこなすことと説明されました。近年

スマートフォンやスマートフォンの普及により、日常的にコンピュータに触れる機会が増えました。その分若い世代はキーボードの扱いに慣れていないそうです。プログラムの言語は英語や記号が多く使われ、特に記号の入力に慣れるためにもキーボードでの入力作業に慣れていただく方が良いでしょう。

「一人に説明するには自分も体験することか一番」と先生に伺いました。

最後に、情報マネジメント学科の紹介で今回の授業を締めくくりました。情報マネジメント学科で学ぶことは「将来の仕事に備え、物事を具体的にこなせること」。

次に「自身がコンピュータになったつもりで」必要なデータを取り出す予測を行う分類するといった演習を行いました。生徒は慣れない作業ながらも自ら考え、時には周りと協力したり質問を繰り返している湊信吾教授に聞いていた様子が見られました。

「どの様な手順で、よくコンピュータは作業を終らせてしまふのが分かる。図を多く描くのが楽しくなってきた。コンピュータが作業を実際に行うことができたこと。ただ話しているだけではなかなか理解ができて学べたので、理解しやすかった。大事なポイントを先生が一つ一つ丁寧に説明してくれてわかりやすくてとても良かった。自分がコンピュータを使えない人の1人なので、知らなかったことを知るのだから良かった。データの中からは必要なものだけを取り出し、そこから予測する事ができてデータの分類ができた。今までのパソコンの使い方のイメージと違って、不要なものを削除するという点に着目できていなかった。全く新しい発見が沢山あり聞いていてとても興味が高まりました。ほとんどパソコンも使えないよ

うになりたいです。コンピュータの機能を応用したソフトウエアが将棋や将棋のチェンブオンに勝つのは面白かった。最初は全然分からない話だったけれど、実践を通してだんだん理解することができるようになった。プログラマーのやり方を講義の先生が回って教えてくださったおかげでわかりやすかった。実際に自分たちで作業したところが良かった。言葉では分からないことも多かった。コンピュータの使い方、そのまゝで英語を使うというのを知れたので良かった。データを簡単にグラフに書き出す一つの方法を知ることが出来た。記号や文字、数字などを使ってデータを表すことを実際にやって仕組みについて知るのだから良かった。

見かけは表になっています。実際のデータは別刷りのプリントのようになっています。ただし、全体の一部です。

たこと。実際にデータを取って見るとデータサイエンスがどのようなものかわかることが出来た。自分がコンピュータになったつもりで手作業で必要なデータを取り出すのが大変なのだった。データサイエンスは統計学や数学や英語の知識が必要なのだった。これを理解するのは難しいが、触れることが出来た。実際にデータサイエンスについて問題を解いて、体験できた良かったと思う。コンピュータの用語について、レポート、フィールドなど初めて聞いた言葉を浪山先生が分かったので良かった。プログラマーの定義が分かったし、データの編集や手順をすることができた。自分が知らなかった事を知ることができた。また、経営学部は今日のようになるとを学んでいるのかと驚かされた。自分達で作業する事で、コンピュータの正確性や、たくさん量のデータを処理することの大変さがわかったのか。

たこと。コンピュータを使ったデータをまとめる時は色々な操作があったり、消したり付け加えたりするのがあって社会でデータ処理をする時には大切なことだと思った。情報処理について知ることができた。今回の講義を通して私は、コンピュータは機械の発展、AIの学習能力は凄まじくすごいものだと思う。一方、未来社会の担い手である私たちが自ら希望した職業にAIが導入され、職を手でできない人が出てくるのではないかと考え、複雑な気持ちになった。が、とてもいい勉強になった。コンピュータで行っている処理を自分の力でやってみることで、コンピュータの技術を



実感することが出来た。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

全国珠算学校連盟主催の暗算段位検定試験 吉川咲来さん〔普通科・アクティブラーニング(AL)コース〕 (江釣子中出身)が暗算10段に見事合格し悲願達成



5月22日に実施された全国珠算学校連盟主催の暗算段位検定試験の最高位昇段である10段に吉川咲来さん〔普通科・AL(アクティブラーニング)コース〕(江釣子中出身)が見事合格し悲願を達成しました。おめでとうございます。

【暗算10段の問題数と時間】
10段は掛け暗算、割の暗算が60題ずつ、見取暗算が30題ずつ、それぞれ制限時間4分、各300点満点。
Q暗算10段に合格するには、どれくらいの問題をどのくらいのスピードで解くのか。

A【かけ算の場合】
2桁×2桁→4桁×4桁
(例) 87×34(2秒)
614×800(5秒)
8435×5700(10秒)
456789×987654(15秒)の計算を瞬時に頭の中で処理できるのが暗算10段。

「10段」まで合格したのは、家族の協力、仲間との励まし、所属している第一珠算学校江釣子教室の谷地敬達也競技部長(先生)の励ましと、「ご指導のおかげ」と吉川咲来さんは喜びと感謝の言葉を述べていました。
あらためまして、全国珠算学校連盟主催の暗算段位検定試験の最高位昇段である10段合格おめでとうございます。



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

7月9日(土)本校クリエーションホールで15時から 3年ぶりに令和4年度同窓会「定期総会」開催される



開会のことば
小笠原達也さん
(昭和58年普通科卒)



理事長挨拶
宮岡孝之理事長



学校長挨拶
阿部 伸校長



同窓会長挨拶
佐藤 整さん
(昭和57年自動車科卒)



開会のことば
村上光太郎さん
(昭和52年普通科卒)



寄付について説明する
千葉一輝課長補佐



校舎建築概要を説明する
木村純常務理事



定期総会議長を務めた
菊池秀成さん
(昭和60年普通科卒)



建設工事予定を説明する
高橋直樹事務局課長



令和4年度四国で開催されるインターハイに出場する男子卓球部と体操部陣に各支部(専北会)から
激励金が贈呈されました。インターハイでの活躍を期待しています。



前同窓会長の高橋勝様へ
同窓会を代表して佐藤整同窓会長から
感謝状と記念品が贈呈されました